

公立豊岡病院組合立病院 豊岡・日高・出石での
人間ドック受診助成希望者募集

▽対象 次の条件を全て満たす市民

・40歳以上の方(平成25年3月31日現在)

・市の指定する医療機関・日程で受診可能な方

・職場などで人間ドック助成制度のない方

・平成24年度「すこやか市民健診」・「個別健診(特定健診)」を受診しない方

▽助成対象病院 豊岡病院、日高医療センター、出石医療センター

▽受診期間 4月～平成25年3月

▽申込方法 健康増進課(保健センター)、市民課(国民健康センター)、各総合支所(市民福祉課)にある「助成申込書(はがき)」に記入の上、窓口へ提出または郵送してください。

▽申込期限 3月16日(金)必着

▽その他 受診病院は、後日お知らせします。

※申込みが多数の場合は、抽選します。

※受診日程は、各病院または

市からお知らせします(日程は希望どおりにならない場合があります)。

▽申込み・問合せ 健康増進課 保健医療政策係(〒668-1004 立野町12-12)

☎24-11127

〈助成内容〉

医療機関	種別	定員	基本料金	加入している保険の種類	市助成額	自己負担額
豊岡病院	日帰り	200人	40,500円	国保・後期高齢者	18,000円	22,500円
				その他保険	10,000円	30,500円
日高医療センター	日帰り	300人	36,750円	国保・後期高齢者	18,000円	18,750円
				その他保険	10,000円	26,750円
日高医療センター	1泊2日	100人	61,950円	国保・後期高齢者	30,000円	31,950円
				その他保険	15,000円	46,950円
出石医療センター	日帰り	100人	40,000円	国保・後期高齢者	18,000円	22,000円
				その他保険	10,000円	30,000円

※受診料金は、診療報酬の改定などにより、変更される場合があります。
※各病院のオプション検査の種類・料金は、「人間ドック受診のしおり」をご覧ください。

運航ダイヤ 3月25日(日)～10月27日(土)

■コウノトリ但馬空港から大阪・東京へ

コウノトリ但馬	発着時刻・便名		大阪(伊丹)	発着時刻・便名		東京(羽田)	所要時間
	午前便	午後便		午前便	午後便		
	10:05⇒10:45 JAC2322便			11:30⇒12:40 JAL114便		最短約2時間35分(伊丹での乗継時間約45分を含む)	
	17:00⇒17:40 JAC2324便			18:30⇒19:40 JAL130便			

■東京・大阪からコウノトリ但馬空港へ

東京(羽田)	発着時刻・便名		大阪(伊丹)	発着時刻・便名		コウノトリ但馬	所要時間
	午前便	午後便		午前便	午後便		
	7:30⇒8:35 JAL103便			9:00⇒9:40 JAC2321便		最短約2時間5分(伊丹での乗継時間約20分を含む)	
	14:30⇒15:35 JAL121便			15:55⇒16:35 JAC2324便			

※発着時間は、天候その他やむを得ない理由により変更される場合があります。搭乗前に確認してください。

3月25日(日)から
運航ダイヤが変わります!

《問合せ》都市整備課交通政策係 ☎23-17712

コウノトリ但馬空港を利用の皆さんへ

■時間と経費を上手に使う!「Air&Bus」プランの紹介



コウノトリ但馬空港発、特急バスで帰ってくる「大阪・神戸」の旅

便利 ⇒ 現地での滞在時間が増えて便利!
帰りのバスは大阪発18:20 神戸発16:30または18:45

快適 ⇒ 女性専用シートを設定!
お得 ⇒ 神戸発城崎行が1,500円、大阪発城崎行が2,000円、で利用できます!

《問合せ》全但バス株式会社 ☎079-662-2131

4月以降も継続予定、近日中にお知らせします!

ふるさとづくりのために
環境経済に取り組んでいます！

株式会社 Team s
耕作放棄地再生による農業活性化

16



「環境を良くする事業で経済効果が生まれることにより、環境と経済は互いに発展し合う」。このような環境経済型事業に取り組み企業にインタビューします。

《問合せ》経済課 経済係 ☎ 23-4480

耕作放棄地を再生しようと思っただけは？

26歳で豊岡に帰ってきてきて建設業を始めたとき、耕作放棄地によって荒れている土地が多くある一方で働き先が少ないと感じました。

環境のためにも、経済・雇用のためにも、何とかしたい、また、工夫すれば解決策があるのではないかと思いました。その後、豊岡市商工会青年部の人材育成塾で農業のスキルや人脈を持った同業者と意気投合し、建設業2社で当社を設立しました。

現状は？

3カ所(約1ヘクタール)の耕作放棄地を再生し、トマト



▲栽培された小松菜

やピーマンなどを栽培しています。また、ビニールハウスを3棟

設置し、パプリカや小松菜などを栽培しています。さらに、実験的に水稲栽培にも取り組んでいます。栽培に当たっては、食品をリサイクルして作った有機液肥を使用し、ビニールハウスの一つは木質ペレットのボイラーで暖房するなど、環境に配慮しています。



▲ペレットボイラーを設置

販売は？

道の駅神鍋高原などの地元店舗と京阪神の直売所などで販売しています。

お客様の反応は？

神戸元町商店街の水曜市などのイベントに出店し、お客様と直接話をする、但馬の野菜が高く評価されていることが分かりました。そこで、今後は都市部での販売を拡大したいと思っています。

建設業者の農業参入について、どう考えますか？

建設業で培った強みを生かすことが大切だと思います。建設業は農地整備などの施設整備だけでなく、工程・コスト管理などの能力があります。今後の展開は？

まず、耕作放棄地を増やさないために、耕作依頼を可能な限り引き受けたいと思っています。今年には新たに1.5ヘクタールの水田と0.7ヘクタールの耕作放棄地で耕作を開始する予定です。

また、当社の規模の拡大に加え、当社のノウハウの提供によって農業に取り組む仲間を増やすグループ化を進め、生産が間に合っていない現状を改善したいです。

将来的には、農業塾等での人材育成・就農支援も行い、農業で経済・雇用を活性化したいと思っています。

「みやぢ」南極へ行く②「しらせ」接岸せず

平成23年12月23日、「みやぢ」こと宮下泰尚隊員(豊岡市職員)が「第53次南極地域観測隊越冬隊員」として南極昭和基地に立ちました。豊岡市民にとって、豊岡にいなながら世界につながるという新しい夢の始まりです。世界に飛び出した宮下隊員のレポートを紹介します。

《問合せ》植村直己冒険館 ☎ 44-1515

南極観測船「しらせ」が昭和基地接岸を断念しました。18年ぶりのことです。昭和基地から約20キロメートル手前で多年氷(一夏以上解けずに残っている氷)に阻まれ、帰りの燃料のことを考えての決定だそうです。

しで氷を削る作業と荷物運びで筋肉痛ですが、楽しく過ごしています。

1月21日、こちらに来てから初めて日が沈みました。短い夏が過ぎようとしています。2月下旬には越冬隊員31人だけを残して「しらせ」が帰国の途に就きます。責任と重大さを改めて感じています。よし、頑張るぞ！

※詳細は、ブログ「植村直己冒険館職員南極へ行く」で紹介しています。
<http://blog.ap.teacup.com/boukenkan/>

「しらせ」に積み込まれている資材は、ヘリコプターによる空輸と雪上車(時速10キロメートル)による氷上輸送で運搬します。

氷上輸送は氷が締まる夜間作業です。幸い私はヘリコプターによる空輸の受け取りで深夜作業を免れましたが、52次越冬隊と53次隊全員でこの過酷な作業に取り組みます。

私の業務用の資材のほとんどがまだ「しらせ」の中で、この広報が発行されるころには全て運び終わっていることを願っています。最近、つるは



▲「しらせ」からの資材を載せたソリをけん引する雪上車